

# 令和6年度

## 大分県森林環境税に関する県政モニター調査結果

(調査目的)

大分県森林環境税について県民意見を聴取し、今後の施策の参考とする。

(調査概要)

①調査対象：県政モニター（105名）

②調査方法：県政モニターあてアンケート

郵送・・・郵送にて送付、返送

メール・・・メールによるアンケート用紙送付、返信

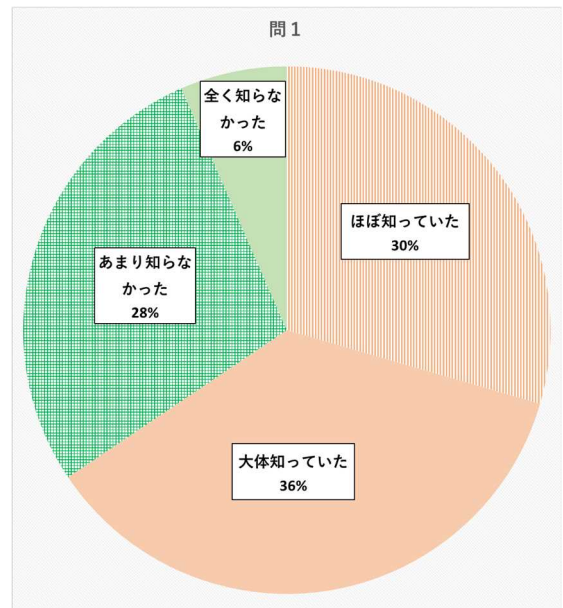
簡易申請・・・簡易申請システムによる入力、データ出力

③調査時期：令和6年8月

④回答者数：61名（回答率58%）

問1

大分県内の森林の一部では、森林の手入れ不足により、森林の水源かん養（雨水を蓄え、少しずつ流れ出すことで、洪水や濁水を緩和し、水質を浄化すること）、土砂流出や山腹崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能（私たちの社会全体に有益な影響を及ぼす機能）が低下している事例があります。こうした森林の現状をご存じでしたか？

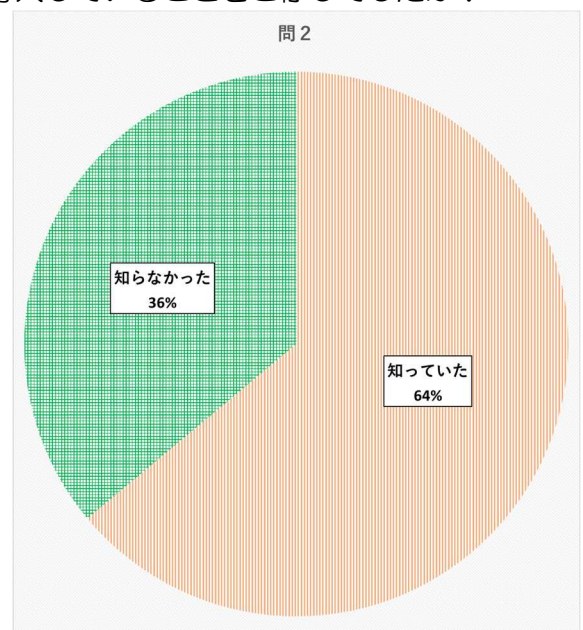


※ 未回答 0件

	ほぼ知っていた 大体知っていた	あまり知らなかった 全く知らなかった	計
回答数 (人)	40	21	61
割合 (%)	66	34	100

問2

大分県では、平成18年度から大分県森林環境税を導入していることをご存じでしたか？

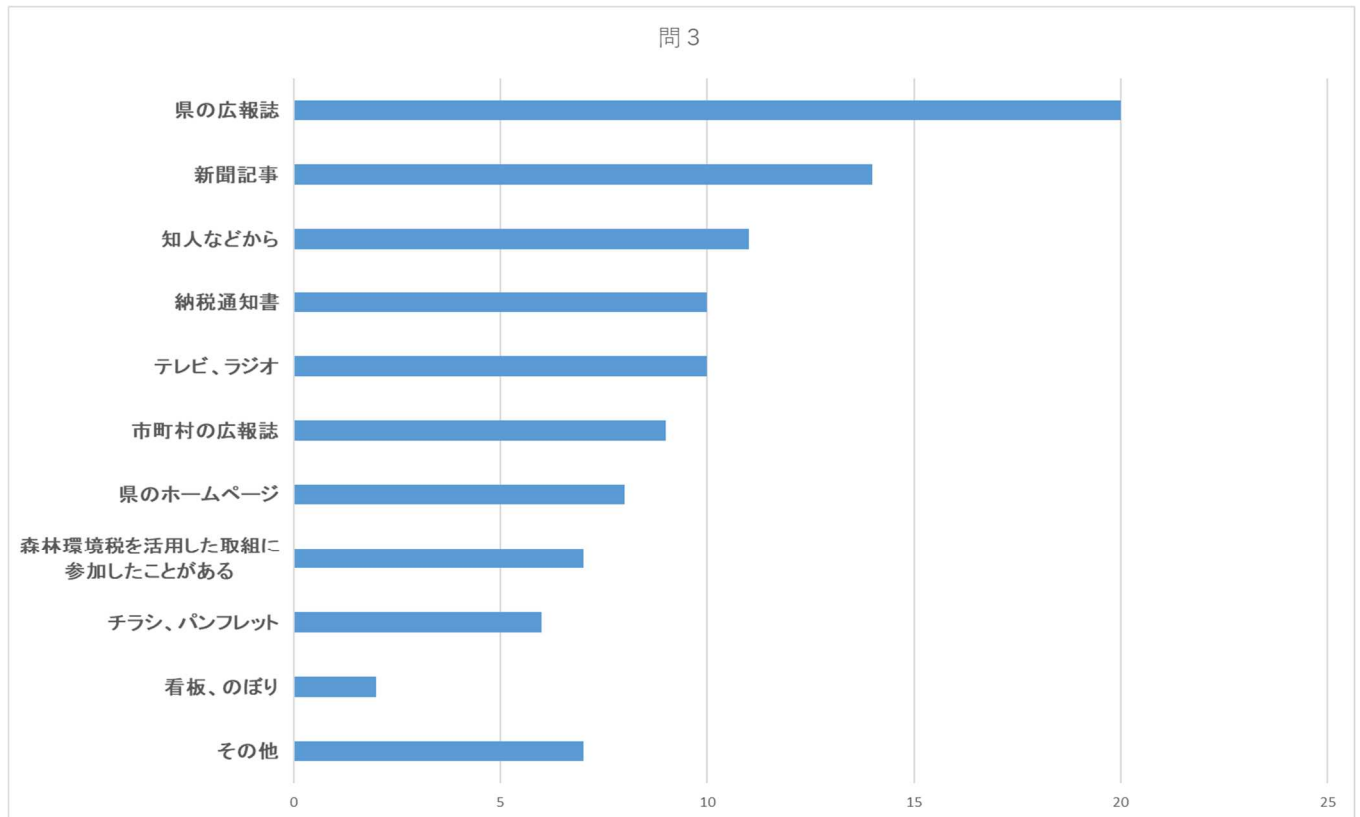


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	39	22	61
割合 (%)	64	36	100

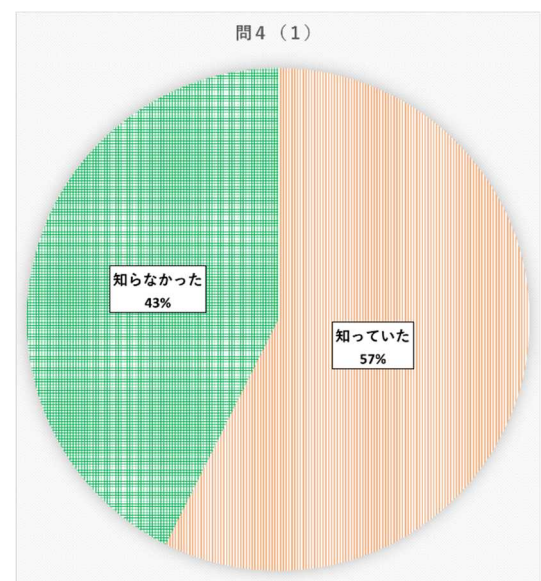
問3 問2で①「知っていた」とお答えいただいた方について、大分県森林環境税を、なにでお知りになりましたか？（複数回答可）

(件)



問4ー(1)

大分県森林環境税として、個人から年間500円（個人県民税均等割額に加算）納めていただいていることをご存じでしたか？

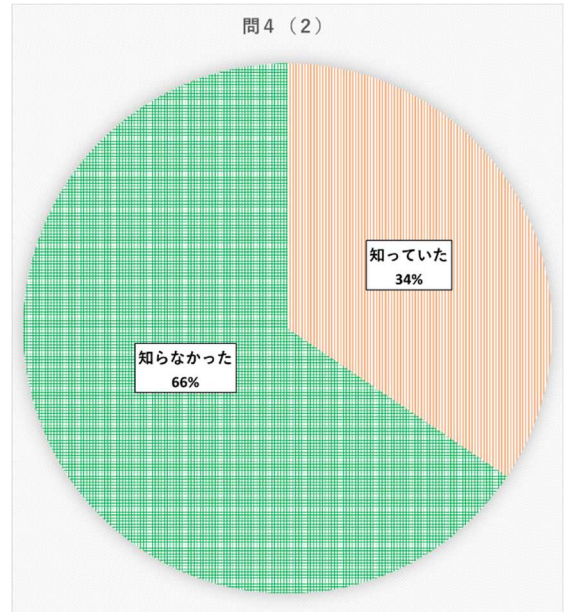


※未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数(人)	35	26	61
割合(%)	57	43	100

問4－（2）

大分県森林環境税として、法人（企業）から法人県民税の5%（年間1,000円～40,000円）を納めていただいていることをご存じでしたか？

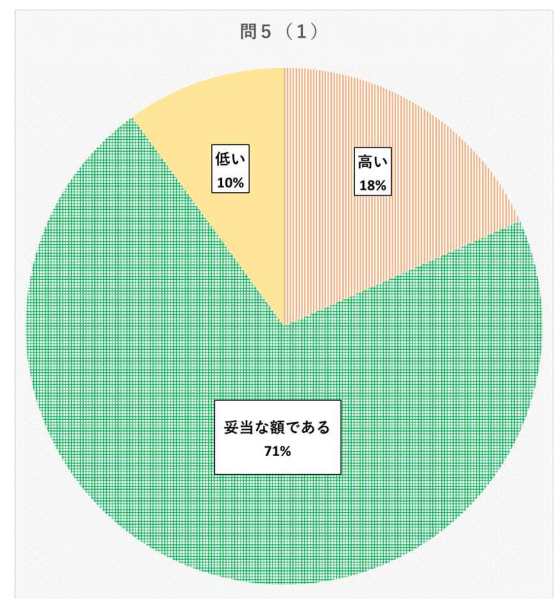


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数（人）	21	40	61
割合（%）	34	66	100

問5－（1）

大分県森林環境税のうち、個人からの年間500円についてどのように感じますか？

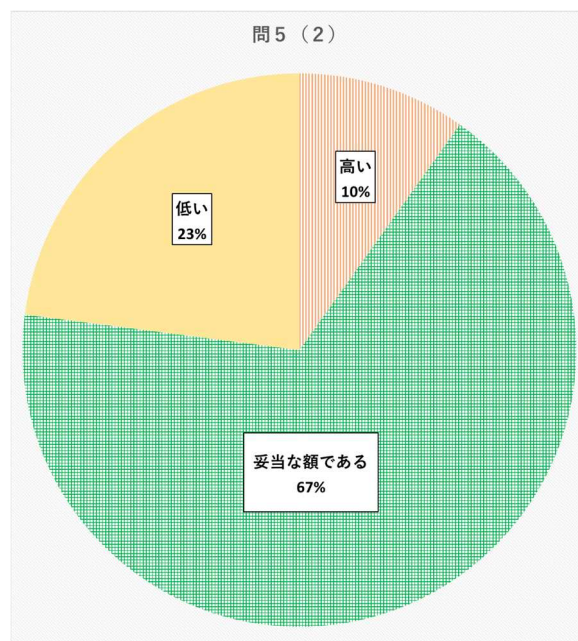


※ 未回答 1件（1%）

	高い	妥当な額	低い	計
回答数（人）	11	43	6	60
割合（%）	18	71	10	99

問5－（2）

大分県森林環境税のうち、法人（企業）からの年間1,000円～40,000円についてどのように感じますか

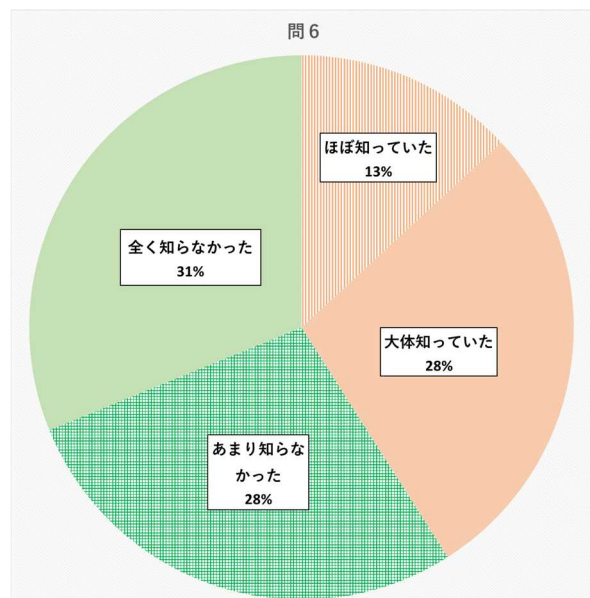


※ 未回答 0件

	高い	妥当な額	低い	計
回答数（人）	6	41	14	61
割合（%）	10	67	23	100

問6

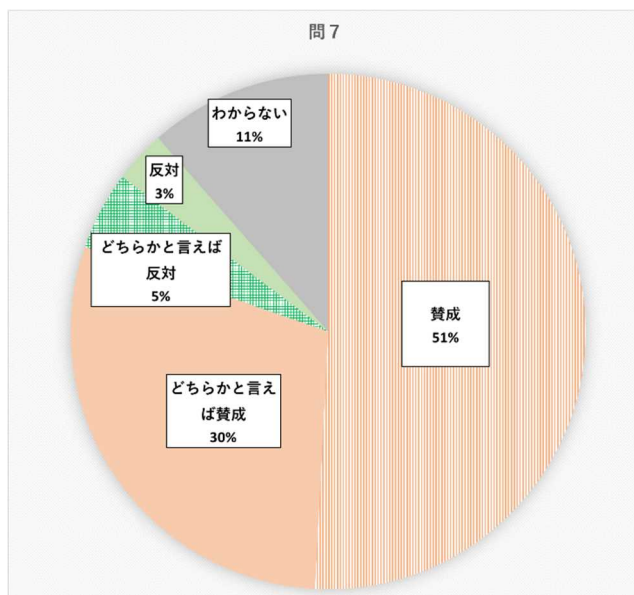
大分県森林環境税を活用した事業をご存じでしたか？



※ 未回答 0件

	ほぼ知っていた	大体知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	計
回答数（人）	8	17	17	19	61
割合（%）	13	28	28	31	100

問7 大分県森林環境税を活用した事業について、全体としての評価をどのようにお考えですか？

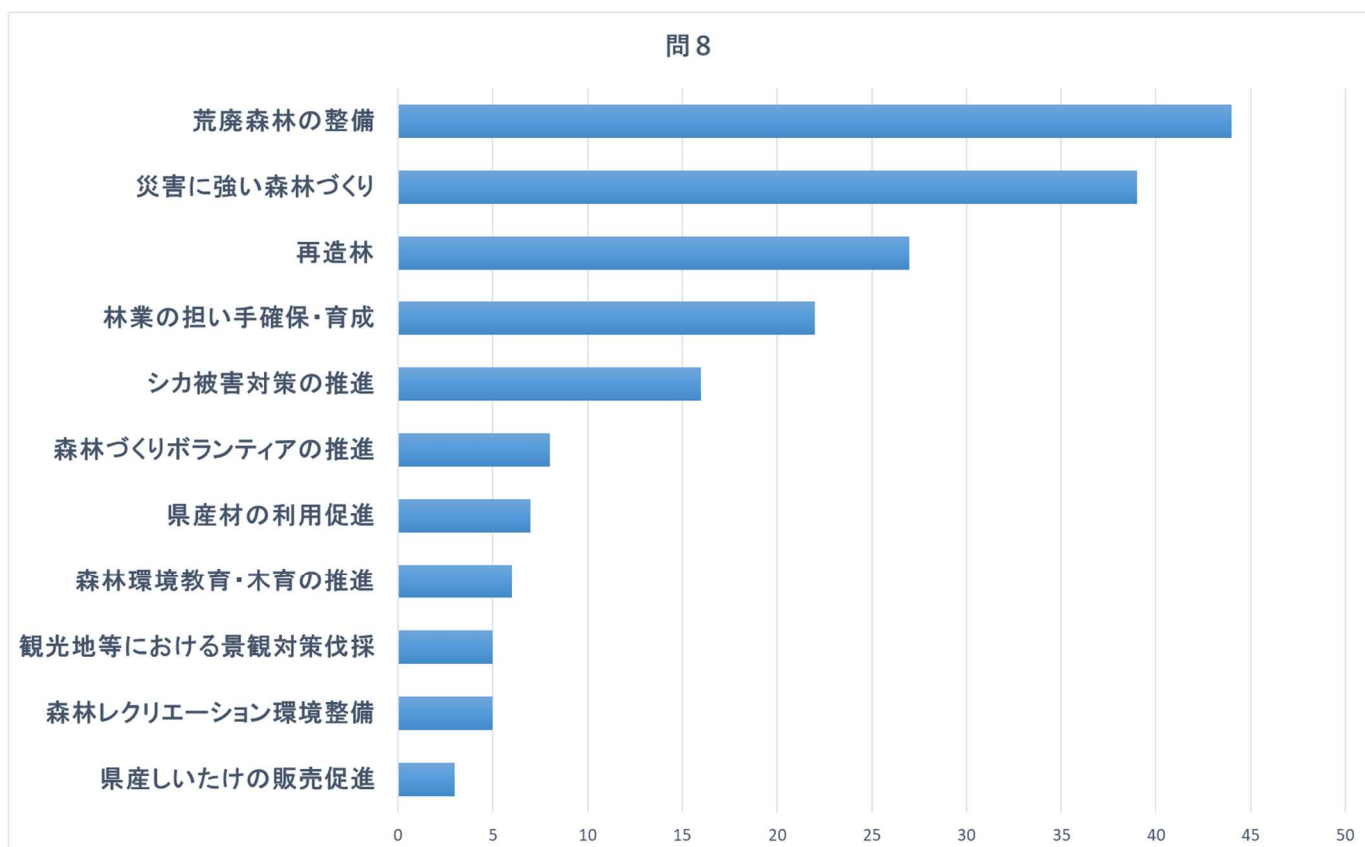


※ 未回答 0件

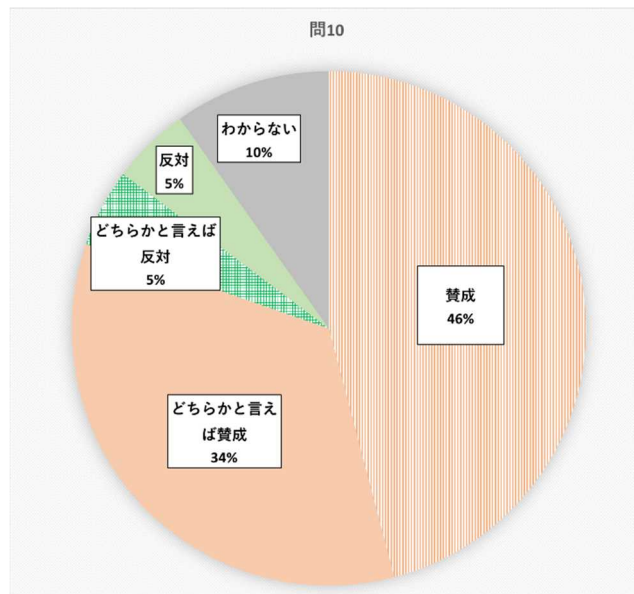
	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	計
回答数 (人)	31	18	3	2	7	66
割合 (%)	51	30	5	3	11	100

問8 大分県森林環境税の用途について、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか？（上位3つを選択のこと）

(件)



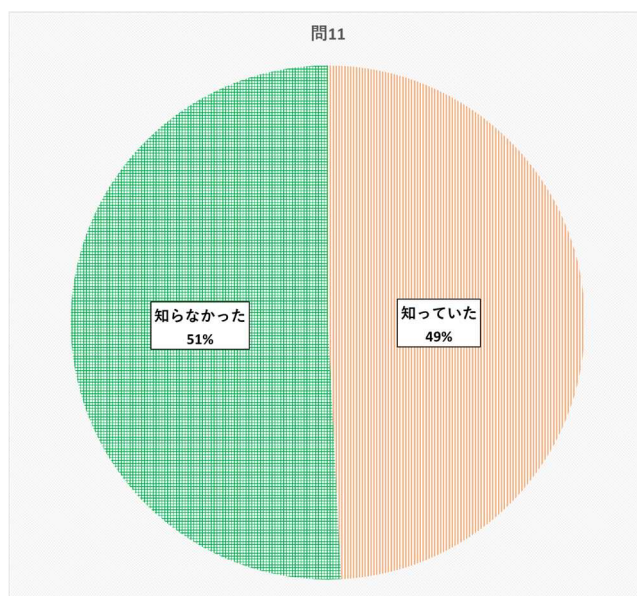
問 10 県森林環境税は、5年ごとに見直しを行っており、令和7年度末に見直しの時期をむかえますが、令和8年4月以降の継続について、どのようにお考えですか？



※未回答 0件

	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	計
回答数 (人)	28	21	3	3	6	61
割合 (%)	46	34	5	5	10	100

問 11 国では、令和6年度から、経営放棄された森林の整備などを推進するための新たな財源として「森林環境税」の徴収を始めました。市町村では、この税を活用し、森林整備、林業従事者の確保・育成等に活用しています。国の「森林環境税」を知っていましたか？



※未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	30	31	61
割合 (%)	49	51	100

問9 問8のほか、今後、大分県森林環境税を活用した方がよいと思う取組があれば記入ください。

#### (林産物利活用推進)

- 県産材を利用すると利用者に何らかのメリットがある様な環境を作って見たら利用が進むのではないだろうか。
- 竹林、手入れの行き届かない樹木、いたるところで見かけます。竹とか樹木で工芸品を作り、大分県特産品として展示販売という方法もあるのではと思います。
- 伐採後の木材を使い、県民にD I Y（小物づくりなど）をする機会を促進し、その活動において森林環境税をアピールしてはどうか？

#### (担い手対策)

- 県で総合的な森林業従事者育成機関が欲しい。人材育成にまず力を入れる。  
（県民参加の行事ではなく、次世代育成目的）
- 人材育成を通して県全体の森林環境の問題点と対策が県民に周知できると思う。
- 新たな林業を目指す方の支援。最初は生活も厳しいと思われるので。

#### (森林ボランティア・森林環境教育)

- 小中高の授業のカリキュラムの中で必須授業として、環境意識を考えていく。
- 大人キャンプ、森と人、生活を考える研修プログラムの実施（企業研修など）
- 子ども達への森林環境教育や木育（木材利用に関する教育活動）の推進を強化してほしい。
- 未来ある子供たちが、自分の国を愛し発展させる為にも、今の内から森林レクリエーション機能の向上を目的とした環境整備。森林公園内の施設等の整備を使った教育を子供たちに学んでもらうことは大切だと思います。森林環境教育や木育、木材利用に関する教育活動が心を豊かにします。
- 「子どもたちが、大分の自然を安心して楽しめる環境づくり」  
竹炭、木炭、屑炭等を寄付募集、無料・低額回収し、県管理河川に設置し、水質改善調査（効果があることは広く理解されていますが）という名目で使用（河川公園のある上流で）
- 森林がある地区とない地区で意識の違いは大きく差があって、学校教育課程で森林事業に触れる機会を子供達の社会見学やもしくは夏休みなどを利用して補助をしながら森林に触れる取り組み。
- 各地区で狩猟等に費用を出すように森林整備ボランティアなどに一定額のお金を出して森林伐採や整備をすすめてはどうか。人集めや教育が必要になるため各市に補助金を出して林業に携わっていない若者へ教育の推進を図る
- 世界の国や地域からの留学生との交流。森林環境について留学生の出身地の実状を学び、その知識を互いに共有する。



- 国の森林環境税とは違う活用をした方が良いと思います。

森林環境教育や NPO による森づくり等に重点的に資金を向けた方が良いと思います。

大分県の森林環境税の内容が使いにくいので、もう少し見直してもらいたいです。

#### (その他)

- シカ、イノシシ等の鳥獣被害対策は特に昨今重視していくべきだと思う。
- 山林を切り開いてのメガソーラーはそろそろ逆風の世論が高まってきていると思うので、ソーラーパネル撤収後の植林植樹活動への取り組みにつかうのがよろしいかと思います。
- 太陽光や風力発電用に土地を売らないよう啓発することに活用。  
森林を守るために税金を使う一方で再エネ普及のために森林破壊を繰り返すなど愚の骨頂。
- 林道の整備
- 取組が十分に行われていないようで、家のまわりは荒廃森林が多い。今の取組をもっともっと充実して欲しい。
- シカ、イノシシ、アライグマなど野生動物との共生をはかること。イノシシが田畑を荒らし回り被害が大きい。
- 森林を活用した余暇活動の推進
- 森林環境地図作成

問 1 2 その他、大分県森林環境税についてご意見があればご記入ください。

#### (意見)

- 農業の方々にも協力してもらえると、閑散期等に竹林やその他のチップなども作りやすいと思います
- 税の用途は具体的目標値を定め、その道筋を示し成果・効果・費用等を公表して欲しい。  
(活動に不明なことや疑問視されることのないように。後付け理由は幾らでもできる。)
- 人材育成計画「問題点・課題。対策を明らかにする」
- 3億円の積立金の使い方  
「ただの数字では事業の難しさや進度が見えない。具体的活動地域や森林名等々を明記する事」積み立てるのではなく環境整備に使い災害回避・防止を。災害処理費ではない。
- 森林環境税の多寡の問・・・問 5-1,2 金額の根拠が分からない、不明。  
他の税金との比較や必要な金額も計画も不明では答えるに苦慮する。  
徴収金額に合わせて使途を考えるでは目的が達成？。
- 大分県森林環境税の利用実績を何らかの方法で、県民に知らせて欲しい。
- 大分県含め各県でこれまで独自に森林環境税を、県民の負担をなるべく軽くなるような額で徴収

し森林の保全活動に役立ててきているなかで、国が後付けで「二重課税」ともとれるようなことをする必要はないとおもいました。今からでも県知事会などから働きかけて国側の徴収を取りやめさせ、どうしても県側の徴収額増額が必要であれば、再度県民に問いかけてみてはどうか。

- ・県民に環境保全の重要性を知って貰うために、小さい時からの教育が重要です。

従って、幼稚園・小学校・中学校での「環境教育」を強力に進めて頂きたい。長ずるに及び山間への不法投棄や道端へのポイ捨てを「注意する県民」が沢山いる大分県になれば良い。

- ・台風で竹が倒れているのもそのままになっていることを見かける。一定の時期に有償ボランティアなど募って整備してはどうか。

ビーチ清掃などのように気軽にボランティアが触れられる機会として簡単な部分と業者等の介入などに分けて、例えば山の日などに必ず行うなど身近な問題として市民が捉えられる取り組みが必要ではないか。

- ・国の森林環境税と、大分県森林環境税との棲み分けを明確にすべきである。税金の使用計画とそれぞれ収支を明確に示してほしい。
- ・素晴らしい取り組みかと思います、特に竹林は肥料などへの使用可能なことなどあり、いろんな分野の人々の知恵を出し合い、森を残しながら整備していく、先人のやり方をまねればよいかと思います
- ・森林の伐採、枝打ち、間引きなどによって豊かな森林を育てる。県産木材として出荷を期待している。また、風水害などによる土石流を防ぐ効果もある。今森林を守る団体や個人業者の担い手も減少している中で、国や県が中心となって森林の整備、及び林業従事者の確保を強くお願いしたい。
- ・次世代を担う若者や子どもの森林学習や森林を守る活動等の推進事業を強化し、県森林環境税を取り入れた活動に活かして欲しい。
- ・「県民生活と自然環境を守る森林づくり」や「森林資源の循環利用による地域活性化」については国の環境税で行っている事業と被るので、内容を見直した方が良いと思います。
- ・国立公園、国定公園など国の指定を受けている自然環境保護区に関しては、県民の税もとより利用者・入山者への徴収も検討してほしい。維持管理整備を目的とした税として。

#### (PR に関する意見)

- ・実施地域が山間部に寄ってるんでしょうか？活動について耳にすることがほとんどなく活動についてほとんど知りませんでした。やっていることや意義、効果などの周知をもっと実施した方がいいのではないかと思います。
- ・周知がされていないような気がしますので CM や教育に盛り込むなど理解を深める活動をしてほしいかもしれません。

企業においてはたくさん納税に協力してくれたら社名を県報に載せるなど WINWIN の関係ができたらと思います。

- ・大分県森林環境税は必要だとは思いますが、日時・場所・企業名・何をどう活用しているかなどを県民に納得がいくように提示したほうが良いと思います。

「環境税とやら、何に使われているのだろうか」という声をたまに耳にします。

- ・市町村ごとに工夫しながら活用していて良いと思います。まだ森林環境税のことを知らない人も多いと思うので、市町村ごとの森林環境税の活用も周知していてもよいのかなと思っています。林業の担い手確保と育成の活用にこれからも力をいれていって頂けたらありがたいです。
- ・最近では地震、台風などの災害が身近に起きるので、その災害を最小限に防ぐため、森林整備や地球温暖化の防止などに役立っている森林環境税をもっと県民に理解してもらう必要があるのではないのでしょうか？（もしかしたら私の認識不足かもしれません。）

#### (その他)

- ・森林環境税は県民税として広く徴収される。活動費として使われるのは森林に対するものであり県民に対してではない。（県税は森林主体に使うもの）
- ・私はアウトドアが大好きでキャンプに行きます。森林の音が聞こえてきます。未来にはどんな変化があるにせよ大切に守るべき自然を税で保護できるなら素晴らしいです。
- ・「佐伯の殿様浦でもつ」で知られる佐伯市であるが、その背景に魚付き保安林の考えが根付いている。森林保全と海洋保全の関係性を素直に受け入れられていることは佐伯市民の特性であるように感じるが、その実の科学的根拠としての理解は私をはじめなされていない。費用対効果という考え方があるが、こうした森林環境税の用途とその効果について、非常に検討は難しいと思われるが、道筋を見たい。
- ・緑豊かな日本の良さが損なわれる整備は反対します。子どもたちが豊かな日本の国を愛して、育つことを願います。
- ・森林の大切さを学ぶ子供たちの姿はとても良いと思います。
- ・東京の空気は地方の森林で作られているという自負があってもよいのではないかと考えています。これだけ声高に環境保全が叫ばれるようになった背景には、資本獲得に向けた自然環境の犠牲になりつつ経済論理や道徳精神の欠如があります。従来的な経世済民（世の中を治め、民の苦しみを救うこと）と築土講木（民のために土を盛り木を組んで住まいを整え、雨風をしのぎ、寒暑を避け、人びととは安心して暮らせるようになった）という仕事の原点に立ち返り、世のため人のため未来のための取り組みになっていくことを望んでいます。
- ・国や県による「森林税」は豊かな資源である森林を守ることを謳うわりに、地域活性や SDGs の

名の下に昔からある自然を破壊しているのでは、と指摘されている。

明治神宮外苑の再開発問題やメガソーラーによる景観破壊及び災害の原因疑いなど、たびたびニュースにもなっている。ただでさえ国民の生活が苦しくなっているのに税収が過去最高であるというこのご時世、五公五民以上の負担を強いている上更に森林税など徴収してやっていることはメガソーラー、ということでは国民感情は穏やかではないし、理解は到底得られないと思う。

- 森林の維持にお金も人手もいるのはわかりますが、メガソーラーで森林を破壊しながら森林環境税を取られるのは納得いきません。再エネ賦課金から補助金もでていますし、太陽光発電業者ばかり優遇してるように思えます。山を切り開いた太陽光発電業者から徴収されたらどうですか。いろんな名目で国民にばかり課税しすぎです。
- 私は県土の大部分が山間僻地で平野部の少ない立地条件（トンネル数日本1）を逆手に取り、これを貴重な財産資源として活用し、農林立県を目指すべきと県政モニターとして提言しています。今回新たに農林水産部で策定した農林水産振興成長事業計画も大変賛成です。本計画とセットで豊かな森づくりの一助となる森林環境税の県民の理解を得る努力を続けてください。森林は工場や車から排出されるCO<sub>2</sub>の吸収源であり、大雨を蓄えるダム役割を果たし、人間生活を救ってくれていることに感謝すべき。
- 大分県内の7月は猛暑日が計23日と新聞で報じていました。私が若い頃は猛暑日などの言葉はほとんど聞いたことがなく、近年の気候変動に対して危機感を持っています。このような状況を招いたのは、私たち人間の欲望が原因です。将来のために森林環境税を個人・企業ともに引上げて、従来通りの自然環境に戻していく必要があると思います。森林の役割は極めて重要です。
- 大変良いと思います。
- 私の家の周りは山なので、森林の活動が活発です。一日何台も木材を積んだトラックが木協か森林組合にむかっています。ゴミ0とうつくし作戦で活動していてよく一人親方の方と会を重ねました。植林の件ですが、どうして山の頂上まで植林をするのでしょうか？頂上付近はスギが育ちにくいし立派な木にはならない。また伐採の時大変です。山の7合目から頂上までは植林せず、雑木にして動物と共生や土砂崩れの予防となり経済的効果的です。
- 大分県は森林面積が広い。森林は私たちの生活に影響を与える。水源利用などをもう少し周知することが大事。なんでも当たり前だと思うことに怖さを知る必要がある。災害の多いこの頃、環境の大切さ、ありがたさを環境税を通じて学ばなければいけない。
- 担当者の方達は、大分県をよりよくするために頑張っていらっしゃる事と思います。よろしくお願い致します。